

避難に関する知識を深めよう！

水害に備え、知っておこう。

河川水位情報と避難情報

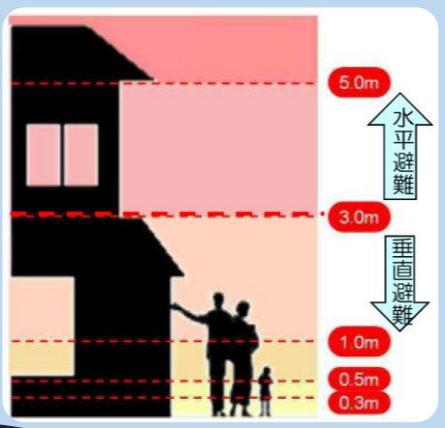
- 氾濫発生情報：すでに河川が氾濫している状態。この状況での屋外避難は大変危険です。
- 氾濫危険水位：河川の氾濫の危険がある水位。避難指示の目安となる水位です。
- 避難判断水位：高齢者等避難開始の発令の目安となる水位。
- 氾濫注意水位：河川の氾濫に対する注意を求める水位。水防団が出勤する目安となる水位です。



覚えておこう！

- 水平避難
 - …指定避難所など浸水リスクの低い場所へ移動をして避難すること。
- 垂直避難
 - …自宅等の建物の2階以上へ避難すること。

一般的な住宅（建物）の1階の高さが約3mなので、浸水深が3m以上の場合は2階以上であっても浸水するおそれがあります。反対に浸水深が3m未満であれば2階以上は浸水のおそれが低いので、無理に避難所へ避難するよりも建物の2階以上へ避難の方が安全な場合があります。
 ※雨の降り方によっては、洪水ハザードマップの浸水深以上の浸水が起こる可能性もあります。



災害避難カードをつくってみよう！

作成日 2024/02/16 16:44:39
住所: 安城市桜町、氏名: 安城太郎

大雨洪水 災害避難カード

③ 避難経路から見た洪水の危険度 (避難経路上で水たまりになりやすい箇所)	やや低い
④ 堤防が決壊した場合の想定浸水深	0.5m~1m 未満
⑤ 洪水時家屋倒壊危険地域※	外

※洪水時に家屋倒壊等のおそれがある区域(想定最大規模(L2)の浸水想定区域図等で確認)

■お近くの河川と見るべき水位観測所⑥ ⇒ 矢作川 高橋(豊田市)観測所

■近くの堤防が決壊が懸念されるときに、避難行動の目安となる水位とあなたの行動

⑦水位観測所の水位の目安	避難に関する情報	⑧あなたの行動 (いつ・何をしますか?)
氾濫発生水位 7.22 m	レベル5 氾濫発生	自宅の2階へ避難
氾濫危険水位 6.8 m	レベル4 避難指示	自宅の2階へ避難
避難判断水位 5.9 m	レベル3 高齢者等避難	家族で相談
氾濫注意水位 2.7 m	レベル2	家族で相談

普通の水位 -1.27 m input08

(水位の取得方法) テレビdボタン を中心に確認する。

テレビdボタン	NHK、メーテレの2局から利用可能です。
web	愛知県・国土交通省の「川の防災情報」から利用可能です。「川の防災情報」で検索
メールサービス	メール(登録先: 安城市)、みずから守る防災情報メール(登録先: 愛知県)
ライブカメラ	愛知県・国土交通省の「川の防災情報」から利用可能です。「川の防災情報」で検索

東栄町の避難のポイント

- 東栄町で想定される浸水深は概ね1m以下であるため、垂直避難（上階への移動や高層階に留まること）が安全です。
- 大雨時は、パソコンやスマホで矢作川（高橋水位観測所）の水位を確認し、氾濫危険水位を超過したら上階への移動を開始しましょう。
- 災害時にどう行動するべきかをあらかじめ考える、災害避難カードをつくってみよう！

デジタルマップの活用

■ 特設サイトのデジタルマップは、自宅のプリンターなどで印刷ができます。どのように避難するべきか、避難の上で気にしたいことなど、話し合って書き込むことができます！是非活用しましょう。

みんなで考えよう！みんなでそなえよう！自ら命をまもるため。

手づくりハザードマップをつかおう！

★手づくりハザードマップ作成の目的：水害のことをみんなで考えるきっかけづくりです。

手づくりハザードマップは、地域のみなさまが、お住まいの地域での水害の危険性について“気づき”正しく“理解”し、いざというときに的確な“判断”ができるよう取り組むことによって、個々の力となるとともに、地域コミュニティの活性化を図るものです。
 まずは集まって勉強会を行い、各自でまち歩きを行い、最後に半日集まってマップづくりを行いました。

★東栄町5～7丁目の手づくりハザードマップは、3つの方法で確認できます。

その1 紙マップで確認！

まずはこのマップを広げてみよう。
 家族や友達と、東栄町の水害リスクを再確認。



その2 デジタルマップで詳しく確認！

特設サイトにアクセスしてみよう。
 自分のスマホで、Google マップで詳しく確認。



その3 3Dマップで確認！

Google Earthをつかってマップをみよう。
 浸水深と自分の家の高さが見比べられたり、危険箇所がよりイメージできるかもしれません。
 ※ホームページ「3Dハザードマップはこちらから」※アプリ「Google Earth」が必要です。



★ページを開いて、東栄町5～7丁目の手づくりハザードマップを見てみよう！



東栄町5～7丁目手づくりハザードマップ

想定し得る最大規模の大雨により、豊田市の方で矢作川が溢れると、溢れた水が安城市北部へ流れ込み、標高の低いこの地区は浸水する恐れがあります！

1. マップの見方

- ❌ 危険！でっぱり部分
- ❌ 危険！へこみ部分
- ❌ 危険！マンホール
- ❌ 危険！水 flowing
- 🌊 早く浸水するココ
- 🟡 その他の危険箇所
- フタのない水路
- 段差のあるココ

※でっぱり部分やへこみ部分などの写真は、特設サイトで公開している2D,3Dデジタルマップで確認できます。

矢作川の想定最大規模の浸水深

- 0.5m未満
 - 0.5～1m
 - 1～3m
 - 3～5m
 - 5～10m
- 矢作川流域で2日間の総雨量が683mmの場合。

！注意！柳原公園の浸水深は、地下の雨水調整池からの深さです。地上からの浸水深ではありません。

2. その他情報

安城市東栄町手づくりハザードマップ特設サイト

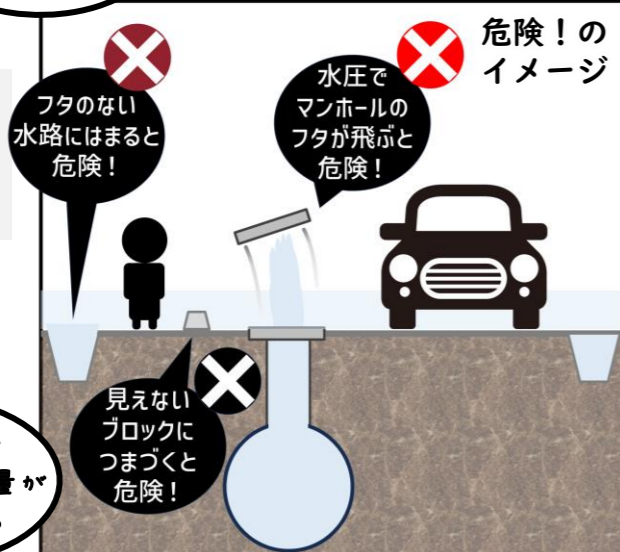
安城市水害ハザードマップ

国土交通省 川の防災情報

矢作川の水位が確認できる

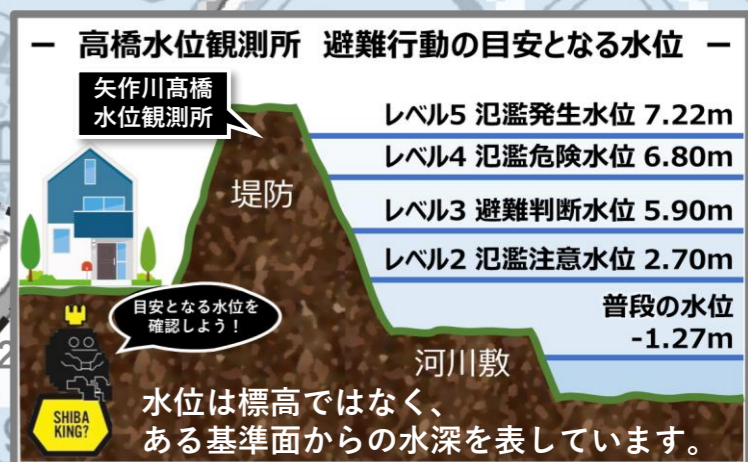


フタのない水路には近づかない！



避難のポイント

- 東栄町で想定される浸水深は概ね1m以下であるため、垂直避難（上階への移動や高層階に留まること）が安全です。
- 大雨時は、パソコンやスマホで矢作川（高橋水位観測所）の水位を確認し、氾濫危険水位を超過したら上階への移動を開始しましょう。



周辺に比べて標高が低く、浸水するリスクが高いため、大雨時は近づかない！

これからも、まちを意識して見ていこう！みんなで情報をアップデートしよう！

手づくりハザードマップの使い方 このマップは、水害時に気をつける点や、とるべき行動についてまとめたマップです。よく目にするところに貼り、家族で話し合しましょう。

町内で最も標高が高い場所